

Windows 起動途中の画面を省略する

ここでは、エラー発生時や起動中の画面をユーザーに見られないように省略する方法についてご案内します。

ご注意

Windows の設定についてよく理解している方が対象です。
よく理解せずに本書の内容だけを元に設定した場合、意図しない問題が発生するおそれがあります。

INDEX

設定例の内容.....	1
必要な機能を使用可能にする.....	2
オートログオンできるようにする.....	3
レジストリを設定する.....	4

設定例の内容

必要な機能を使用可能にする

Windows 機能の有効化または無効化で、[カスタムログオン]と[ブランドではないブート]を使えるようにします。

オートログオンできるようにする

パスワードを設定している場合、オートログオンできるように設定します。

レジストリを設定する

EmbeddedLogon / BootExp / Personalization の機能を設定します。

必要な機能を使用可能にする

「Windows 機能の有効化または無効化」で [カスタムログオン] [ブランドではないブート] を有効にします。

1 コントロールパネルを開く

※ 検索ボタンをクリックし、「cont」と入力して表示された [コントロールパネル] をクリック

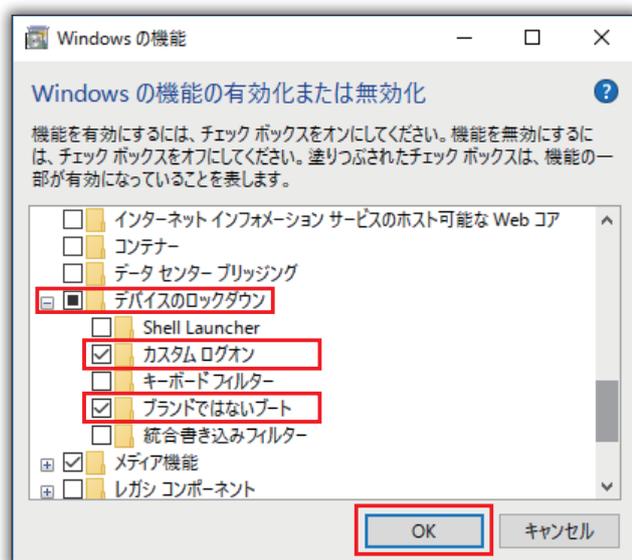
2 [プログラム] → [Windows 機能の有効化または無効化] をクリック

3 [カスタムログオン] [ブランドではないブート] を有効にする

① 「デバイスのロックダウン」の下を表示する

② [カスタムログオン] [ブランドではないブート] にチェックを付ける

③ [OK] をクリック



これで、必要な機能が使用可能になりました。

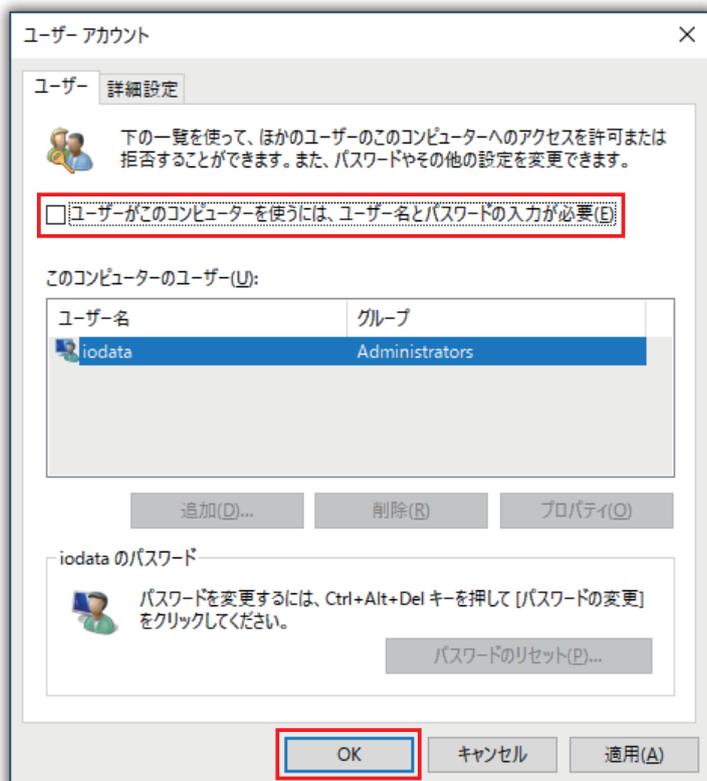
オートログオンできるようにする

パスワードが設定されている場合、再起動の際にログオン画面が表示されてしまいます。そのため、オートログオンできるように設定します。

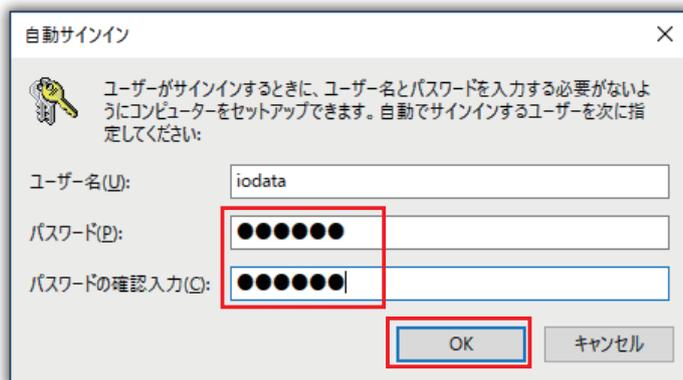
パスワードを設定していない場合は不要です

パスワードを設定していない場合、ログオン画面が表示されないため、この設定は不要です。

- 1 ユーザーアカウントを開く
※ 検索ボタンをクリックし、「netplwiz」と入力して表示された[netplwiz] をクリック
- 2 [ユーザーがこのコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要] の**チェックを外して**、[OK] をクリック



- 3 パスワードを2回入力し、[OK] をクリック

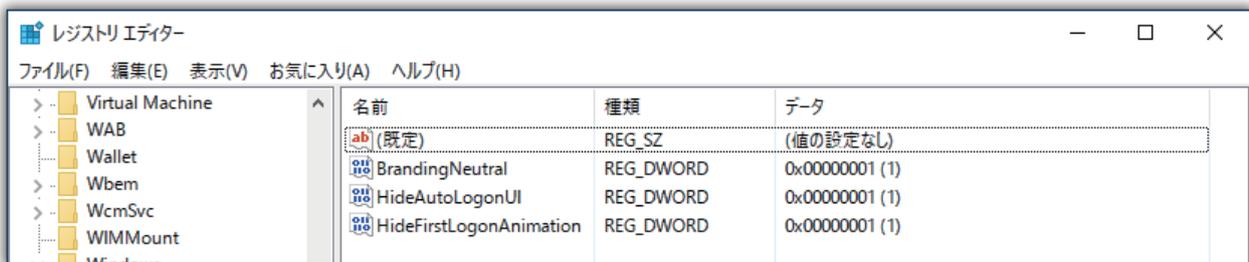


これで、Windows にオートログオンできるようになりました。

レジストリを設定する

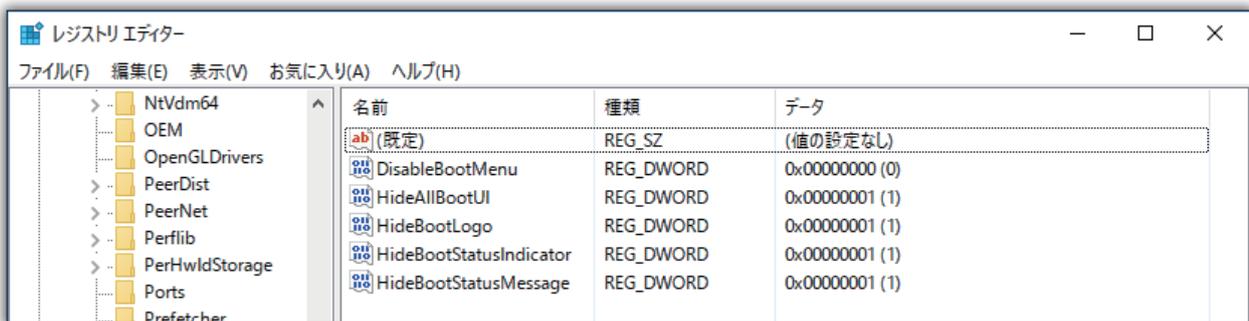
- 1 レジストリエディターを開く
- 2 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows Embedded¥EmbeddedLogonを開く
- 3 以下の項目を設定する

項目名	値	備考
Branding Neutral	1	ようこそ画面のすべてのUI要素を無効にします。
HideAutoLogonUI	1	自動サインインが有効になっているときにようこそ画面を非表示にします。
HideFirstLogonAnimation	1	ログオン時のアニメーションを無効にします。



- 4 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥WindowsNT¥CurrentVersion¥UnattendSettings¥BootExpを開く
- 5 以下の項目を設定する

項目名	値	備考
HideAllBootUI	1	起動時にロゴ、ステータスインジケータ、ステータスメッセージを非表示にします。
HideBootLogo	1	起動時に Windows ロゴが表示されないようにします。
HideBootStatusIndicator	1	起動時にステータスインジケータが表示されないようにします。
HideBootStatusMessage	1	起動時にステータスメッセージが表示されないようにします。



6 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Policies¥Microsoft¥Windows¥Personalizationを開く

7 以下の項目を設定する

項目名	値	備考
NoLockScreen	1	スリープからの復帰時、ロック画面を表示せずに復帰するようにします。



8 Windowsを再起動する

これで、Windows 起動途中の画面が表示されないようになりました。